

Cisco Video Surveillance Manager と Cisco UCS S3260 ストレージ サーバの 連携

ソリューション概要
2016 年 11 月



概要

包括的なビデオ監視ソリューション

- Cisco UCS® S3260 ストレージ サーバを Cisco® Video Surveillance サーバソフトウェアと組み合わせることにより、数千台のビデオ監視カメラをサポートする、完全な仮想化ハイパースケールソリューションが実現します。

Cisco UCS S3260 ストレージ サーバとの統合

- Cisco Video Surveillance Manager (VSM) を実行する S3260 サーバは、デジタル録画/再生容量の拡張性と高いコストパフォーマンスを提供します。

優れた容量と性能

- S3260 サーバは、大規模なビデオ監視に最適な容量とパフォーマンスを提供します。このソリューションは、最大 240 TB のストレージ容量をサポートしており、将来的には最大 600 TB まで拡張されます。総計で、ラックあたり最大 9.6 ペタバイト (PB) のストレージ容量になります。

透過的な統合

- このソリューションは、既存または新規の Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS) および Cisco Unified Nexus® インフラストラクチャソリューションに統合できます。

セキュリティを重視する企業では、エンドツーエンドのビデオ監視ソリューションを、シスコの最新の Cisco UCS® S3260 ストレージサーバと組み合わせて利用しています。

脅威の迅速な検出と対処を実現するには、人、プロセス、資産を監視および保護するためのより優れた方法が必要です。そこで多くの組織が頼りにしているのが、Cisco® Video Surveillance Manager (VSM) を実行する Cisco UCS S3260 ストレージサーバです。この強力なソリューションでは、数千台のビデオ監視カメラを容易にサポートできるため、侵入や脅威に先んじて、損害を受ける前に対応策を取ることが可能です。

柔軟な物理的セキュリティソリューション

組織の安全とセキュリティを保つには、IP ベースの複数の監視場所から脅威を迅速に検出し、さらにコラボレーションを強化することが必要です。シスコの物理的セキュリティソリューションは、企業や政府機関に、ネットワーク セントリックな脅威検出機能、モニタリング機能、対応機能を提供します。エンドツーエンドのソリューションには IP ビデオ監視、IP カメラ、電子アクセス制御、インシデント対応機能が統合されているため、コスト効率に優れた、モジュラ型の物理的セキュリティソリューションを構築できます (図 1)。

S3260 ストレージサーバと Video Surveillance Manager をベースにしたシスコの包括的なビデオ監視ソリューションを使用すれば、セキュリティ担当者がインシデントの監視、調査、対応をリモートで簡単に実施することが可能になります。これらのソリューションは、高性能コンピューティング システム、高密度ストレージ、ビデオ監視ソリューション、リモート管理ソフトウェアを統合しています。

Cisco Video Surveillance ソフトウェア

Cisco Video Surveillance ソフトウェア ソリューションは、ネットワーク チームとセキュリティ チームが効果的に連携できるよう支援します。ビデオおよびネットワーク技術をセキュアなポリシーベースのシステムと組み合わせることで、セキュリティ チームは、数十万

Cisco Video Surveillance Manager と Cisco UCS S3260 ストレージ サーバの連携

単位のビデオ監視カメラを利用した作業の生産性を最適化することができます。Video Surveillance Manager は、IP テクノロジーを使用して、多くのサイト、カメラ、ストレージシステムにソリューションを拡張し、イベントタグが付与された、低遅延で高品質なビデオを監視者に容易に提供することができます。集中管理型システムから分散型の高度に仮想化された環境までさまざまなネットワークポロジとプラットフォームをサポートすることで、監視要件が複雑な場合でもシンプルかつ効果的な管理を可能にします。また、Web ベースのツールキットは、シスコとサードパーティ双方の監視エンドポイントからビデオを設定、管理、表示、制御するツールを提供します。

Video Surveillance Manager には、拡張性と信頼性に優れたビデオ管理プラットフォームの Cisco Video Surveillance Media Server Software が含まれ、ビデオ ストリームの管理、複製、配信、アーカイブを実施できます。これらのソリューションは、ビデオ、メディアサーバ、カメラ、エンコーダ、監視者へのアクセスを認証および管理する Web ベースの一元管理ツールである Cisco Video Surveillance Operations Manager ソフトウェアと連携します。

Cisco UCS S3260 ストレージサーバ

S3260 は、一般的な業界標準の筐体で独自のメリットを提供し、総所有コスト (TCO) を削減して IT の俊敏性を向上させます。ビデオ監視のニーズに対応するため、S3260 はバランスの取れた処理能力、メモリ、I/O、内蔵ストレージ リソースを提供するため、必要なリソースを必要な場所に投入することができます。



図 1 シスコの物理的セキュリティ ソリューションのコンポーネント

S3260 は、モジュラ型の高度な高密度ストレージ ラック サーバです。Intel® Xeon® プロセッサ E5-2600 v4 ファミリーをベースに、コンパクトな 4 ラックユニット (4RU) 筐体で最大 600 TB のローカル ストレージを提供します。内蔵ハードディスクドライブ (HDD) は個別にホットスワップ可能で、エンタープライズクラスの組み込み RAID 技術により、ビデオ監視環境における高レベルのデータ可用性の実現に寄与します。さらに、Cisco UCS 仮想インターフェイスカード (VIC) が低遅延の高速接続を実現します。Cisco Integrated Management Controller (IMC) によってリモート管理が可能になり、地理的に分散した場所のデータセンター運用および管理タスクがシンプルになります。

S3260 サーバはそれぞれ最大 14 台の Video Surveillance Manager 仮想マシンをホストでき、各仮想マシンは 250 台までの IP カメラを保持できます。数十台規模に

までサーバ構成を拡張できるため、数千台のカメラやペタバイト単位のストレージをサポートすることが可能です。

- **価値:** S3260 サーバは、Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS) の一部として、予算効率、俊敏な企業対応、シンプルな IT 運用を実現します。
- **効率:** モジュラ型シャーシで、サーバノード、ストレージ、ネットワーク コンポーネントをサポートします。革新的なエアフロー設計、冷却効率の改善、奥行き短い設計 (82 cm (32 インチ) 未満) により、少ない電力および冷却要件で、ビデオ監視コンピューティングおよびストレージソリューションの密度を高めることができます。
- **TCO の削減:** S3260 サーバは、単独または Cisco UCS プラットフォームの一部としての導入が可能です。ビデオ監視

のニーズに応じて、システム全体を交換せず、個々のコンポーネントを追加またはアップグレードできるので、長期投資を確実に保護できます。

一般的な導入では、Cisco UCS C220 M4 ラック サーバなどの単独のサーバで Video Surveillance Operations Manager を実行します。高可用性が求められるソリューションではサーバ 2 台で構成します。

リファレンス アーキテクチャ

導入の遅延やサービスの中断があると、組織のセキュリティに影響が及ぶ場合があります。シスコのリファレンス アーキテクチャは、設計者と管理者にソリューションを実装するためのガイドブックを提供することでリスクと推測を軽減します。シスコのビデオ監視リファレンス アーキテクチャは、ソリューションを迅速かつ確実に立ち上げられるようテスト、検証、および文書化しています (表 1)。

まとめ

セキュリティ監視機能を強化するために、世界中の企業が Cisco UCS S3260 ストレージ サーバを使用して Cisco Video Surveillance ソフトウェアを実行しています。ビデオ監視機能の改善を必要とする組織には、シスコのハイパースケール ソリューションが、TCO を削減しつつ、数千台のビデオ監視カメラをサポートします。

表 1 Cisco UCS S シリーズ ストレージ サーバに導入された Video Surveillance ソリューションのコンポーネント

コンポーネント	Cisco UCS S3260 ストレージ サーバ
ソフトウェア	・ ビデオ監視ソリューション
CPU およびメモリ	・ Intel Xeon プロセッサ E5-2680 v4 CPU ・ 256 GB の RAM
ストレージ コントローラおよびストレージ	・ Cisco 12 Gbps SAS Modular RAID コントローラ (4 GB フラッシュベース書き込みキャッシュ (FBWC) 搭載) ・ ブート用 480 GB SATA SSD X 2 ・ 4 TB 7,200 rpm SAS SFF HDD X 60 ・ 10 TB 7,200 rpm SAS SFF HDD X 60 (対応予定)
ネットワーク コントローラおよびネットワークとクラスタの拡張	・ Cisco UCS VIC 1387 X 2 ・ 既存または新規の Cisco UCS および Cisco Nexus インフラストラクチャ ソリューションに統合
raw ストレージ容量	・ 240 TB (ラックあたり 3.6 PB)、将来的にはラックあたり 9.6 PB をサポート

関連情報

Cisco Video Surveillance リリース 7 のドキュメンテーション ロードマップの詳細については、http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/security/physical_security/video_surveillance/network/vsm/roadmap/vsm_7_roadmap.html [英語] を参照してください。

Cisco UCS S シリーズ ストレージサーバの詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/storage> を参照してください。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は2016年12月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先